

柏市消費者教育推進連絡会つうしん NO.33

〈柏市消費者教育推進連絡会について〉

- ◆ 目 的 ◆ 柏市の学校における消費者教育の推進
- ◆ 委 員 ◆ 柏市教育委員会, 小・中・高等学校教員
- ◆ 事務局 ◆ 柏市消費生活センター (4 名)



令和 6 年度第 1 回柏市消費者教育推進連絡会



齋藤先生から日本の消費者教育の背景や歴史的変遷, 消費者教育推進法, 学校における消費者教育等ご指導を頂きました。その後, 連絡会の委員が 2 グループに分かれ, 「ブレインストーミング法」を活用して, 消費者教育からイメージすることをテーマに発想したキーワードやアイデアを貼り出し, 仲間分けをして発表し合いました。

6 月 2 8 日 (金) 午後 3 時から沼南支所 5 階 5 0 2 会議室で開催致しました。

講師: 川村学園女子大学 生活創造学部 生活文化学科

教授 齋藤 美重子 先生

令和 6 年度 連絡会委員



指導課	平野 秀樹 指導課長	酒井根中学校	古山 歩美 教諭
	相澤 智幸 指導主事	西原中学校	生田 史恵 教諭
土小学校	小澤 優香 教諭	松葉中学校	鈴木 健輔 教諭
酒井根小学校	茂木 宏樹 教諭	柏の葉中学校	片岡 佑太 教諭
高田小学校	佐藤 みのり 教諭	柏市立柏高等学校	土屋 美緑 教諭
旭東小学校	日野 翔太郎 教諭	県立東葛飾高等学校	富永 翔馬 教諭
高柳西小学校	田中 智大 教諭	県立佐倉高等学校	佐藤 一樹 教諭

学校教育における消費者教育の推進について 平野課長より

学校教育における消費者教育は、平成25年に閣議決定した、「消費者教育の推進に関する基本的な方針」（平成30年・令和5年に変更）に基づき、学習指導要領の趣旨を踏まえ進められています。この基本的な方針には、今期の基本的な方向が示され「教える」だけでなく、消費者による自ら及び相互に「学ぶ」「考える」「行動する」ことの促進、消費者の多様化等踏まえたきめ細やかな対応、デジタル



座長の平野課長の進行で進められた
第1回の消費者教育推進連絡会

化への対応等が示され、柏市が進めてきた「学び続ける力の育成」にも繋がるものです。さらに、授業にあたっては、一つの教科だけに限定せず、教科横断的な実践も推進してほしい。とのことでした。

世界の動き『エシカル消費』とは？

「エシカル」とは英語で道德・倫理という意味であり、「エシカル消費」とは、人・社会・地域・環境（空気・水・土地）との関係性（持続可能性）に配慮した消費行動です。何を買うかを考える尺度であり、買わないといった選択肢も含まれています。例えば、CO₂の排出を減らす、地産地消や自然エネルギーを活用する。また、川や海を汚すものは買わない、ごみを減らす。児童労働など人権を無視した働かせ方をしてる企業のものは買わない。などです。（講師の齋藤先生より）

授業づくりのためのサイト例



これまで、連絡会の委員を務めていただいた先生方が実践した消費者教育授業の資料を、消費者教育ポータルサイトに掲載しております。

詳しくは下記 URL か右側の二次元バーコードを参照してください。

<https://kashiwa.ed.jp/scenter>



〈発行・問い合わせ先 柏市消費生活センター 電話04-7163-5853〉